

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名【新】自然体験推進事業費補助金（R8分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境エネルギー生活部 環境生活政策課 自然環境活用交流促進係

電話番号：058-272-1111(内2922)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 補正要求額

1,000千円

(現計予算額：

0千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	1,000	500	0	0	0	0	0	0	500
決定額	1,000	500	0	0	0	0	0	0	500

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

各地域の歴史や文化等と一体的に自然環境に触れる事業を支援し、県民の自然体験機会を創出する。

(2) 事業内容

その地域の歴史や文化等と一体的に自然環境の魅力に触れる事業に取り組む市町村等に対し、開催に要する経費の一部を助成する。

また、近年の環境に関する大きな課題であるプラスチックごみの排出量削減や脱炭素等に向け、環境に配慮したイベントのモデルケースとして県内への普及を図る。

自然体験推進事業費補助金

【補助対象者】市町村、民間団体等

【補助率】 1/2以内

【上限額】 1,000千円（1団体あたり）

(3) 県負担・補助率の考え方

県内の開催は地域に偏りがあり、事業の立ち上げ及び定着に向けた支援が必要。また、開催により地域の活性化にもつながるため、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,000	地域の歴史や文化等と一体的に自然環境の魅力に触れる事業に要する経費に対する補助
合計	1,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第7次岐阜県環境基本計画

基本施策5 「未来につなぐ人づくりとライフスタイルの変容」

基本施策3 「美しく豊かな環境との共生」

基本施策2 「資源循環型社会の形成」

(2) 国・他県の状況

環境省は平成29年7月、温泉地の活性化に向けた提言をとりまとめ、「温泉を中心に、自然環境、歴史・文化、食などの地域資源を活かした元気になれるプログラムの提供が重要」としている。

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

市町村等が自然環境の保全意識の醸成と地域の活性化のために開催するイベントを県が支援することは妥当である。

県単独補助金事業評価調書

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	自然体験推進事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村、民間団体等 (理由) 市町村だけでなく、地元実行委員会による開催が想定されるため。
補助事業の概要	(目的) 自然環境、歴史・文化、食などの地域資源を活かした自然体験イベント等の県内各地での開催を推進
補助率・補助単価等	定率 (内容) 1／2以内 (理由) 事業の立ち上げと定着に重点を置くため。
補助効果	自然環境、歴史・文化、食などの地域資源を活かした自然体験イベント等の開催による自然環境保全意識の醸成及び地域の活性化
終期の設定	終期 令和10年度 (理由) 自然体験イベント等の開催による自然環境保全意識の醸成及び地域の活性化を図るため、事業の立ち上げから定着までを支援する。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 自然環境、歴史・文化、食などの地域資源を活かした自然体験イベント等の開催による自然環境保全意識の醸成及び地域の活性化

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①開催回数 (累計)					5	

補助金交付実績 (単位：千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度

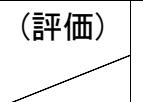
(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)	
------	---

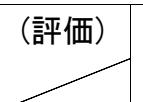
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり）

2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成）

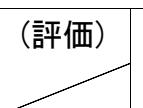
1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%）

0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）

(評価)	
------	---

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)	
------	---

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項



(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

地域に定着すれば支援は不要となる。